

令和6年8月19日  
国立大学法人長岡技術科学大学  
学長選考・監察会議

## 学長の業務執行の状況の検証結果について

国立大学法人長岡技術科学大学学長選考・監察会議規則第4条第3項に規定する学長の業務執行の状況の検証を行いましたので、その結果を公表します。

### 1. 検証のプロセス

令和6年度第3回学長選考・監察会議（令和6年7月8日開催）において、以下の資料、学長のプレゼンテーション及び学長選考・監察会議委員との質疑応答により検証した。

- ・学長選考の基準（平成27年1月27日付け学長選考会議決定）
- ・学長選考時における所信（令和2年8月28日学長選考会議公示）
- ・令和5年度の計画に係る中期目標・中期計画等進捗状況に関する自己評価書
- ・監事の監査結果報告書（令和5事業年度監査報告書）
- ・令和5年度の業務執行状況の説明資料（プレゼンテーション資料）

なお、検証にあたり、監事から令和5年度の監査業務における意見を聴取した。

### 2. 検証結果について

令和5年度における学長の業務執行の状況については、適切に執行されていると判断する。

新時代に求められる人材育成や幅広い視野を養う教育体制を確立するとともに、他機関と連携しながら、プロジェクト等に果敢にチャレンジし、様々な外部研究資金等の獲得を通じて、財務基盤の強化を図ったことは高く評価できる。

今後は、教育研究成果に基づいた学生の資質向上の様子を具体的に示す指標等も含めて更なる取り組みを進めていただくことを期待したい。

強いリーダーシップを発揮し、変化する時代の要請を取り込みながら、技大の強みを活かした戦略を策定し、大きな変革を行っているが、一方で教職員の業務増加が懸念される。今後は学内のステークホルダーである教職員との対話等や丁寧な説明を通して、合意形成の努力を図り大学全体で理解を深めて取り組みを進めていくことが重要である。

以上